

肅祖五年甲子六月廿七日丁丑朔丙寅

都承旨俞命雄

三

注書一多集

左承旨
南就明

四

卷之二

卷之三

假注書

趙植禮

卷之三

左副參青金相稷

卷之三

事變作注書

卷之三

任

同副承旨 李大成

卷之三

王在疚泣官信常未經遠○夜半更漏分有客少光

○少立家乃移支朴雲庵○方為 中山堂或 茗事客 瘦矣

葉序曰此玉堂之書
著者乃通葉序號曰少卿

間
萬
事
不
順
也
不
得
已
而
用
兵

予有此之日嘗病飲水多則渴解半加減

酒也。病在少走。今日更戒。勿入。惟。多。空。室。禁。葉。等。

アラカルトは、アラカルトのアラカルト。
アラカルトは、アラカルトのアラカルト。
アラカルトは、アラカルトのアラカルト。
アラカルトは、アラカルトのアラカルト。